

行田公共下水道事業全体計画の 変更について

令和6年度 第1回

行田市下水道事業運営審議会

行田市 都市整備部 下水道課

全体計画変更の経緯

1. 全体計画とは

下水道事業の全体計画は、将来の地域の状況などに対応した長期的な下水道整備の実施計画であり、今後20年から25年後の将来人口や社会情勢を踏まえた計画として、下水道事業計画の適正化を図る目安となるものです。

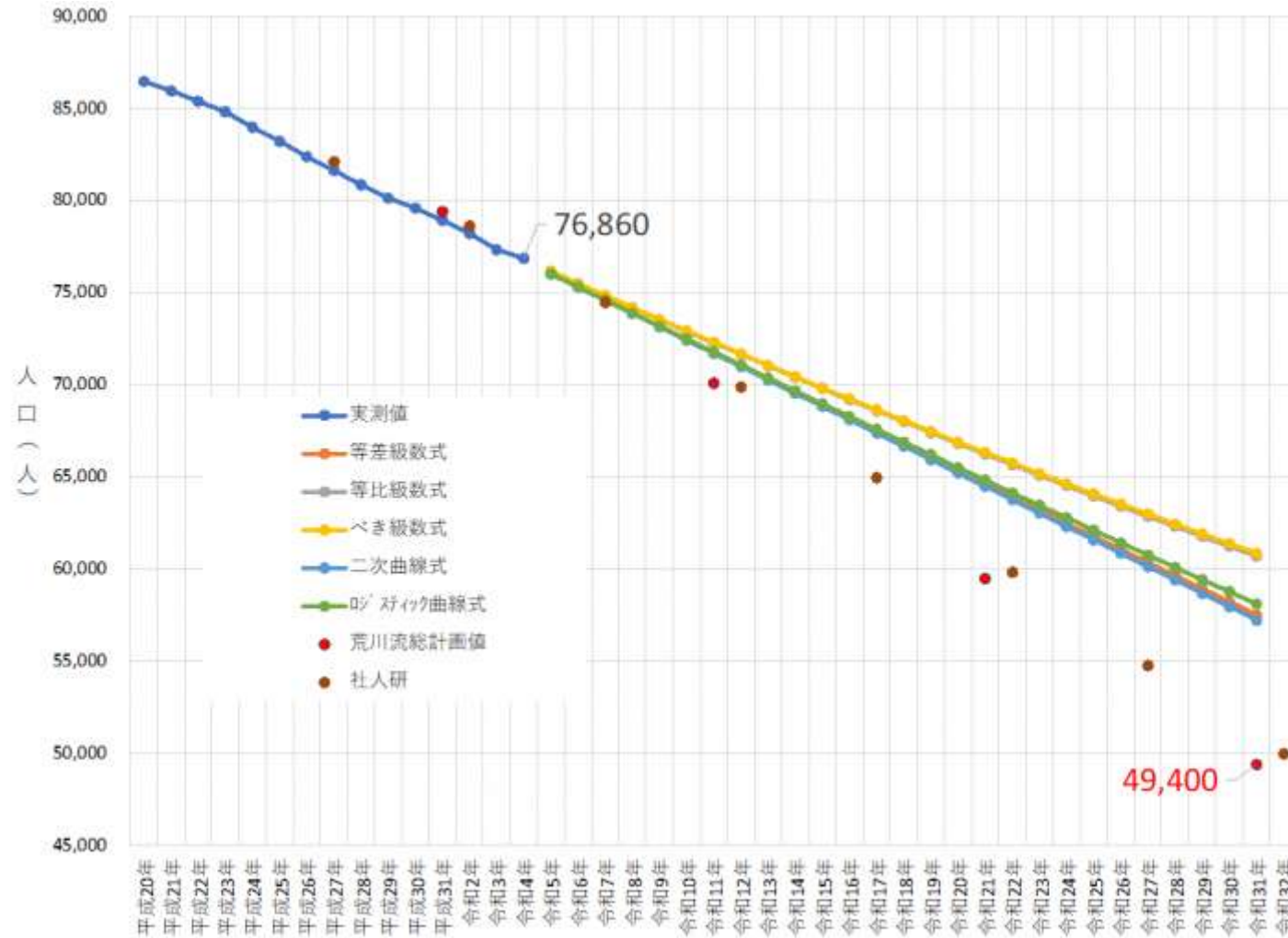
2. 全体計画変更に至る経緯

近年の人口減少や下水道施設の老朽化、災害に備える耐震化の推進など社会情勢の大きな変化に直面し、上位計画である荒川流域別下水道整備総合計画は、令和5年に計画人口や計画汚水量等を見直して、目標年次を令和6年度から令和31年度に延伸しました。

今回の変更は、上位計画の見直しを受けて、本市の計画人口や計画汚水量、計画区域等を見直し、将来にわたって安定的に下水道事業を継続していくために全体計画の変更を行うものです。

本市人口の推移と将来予測

本市の人口は令和4年で76,860人が年々減少し、令和31年には49,400人に減少する。



全体計画の概要

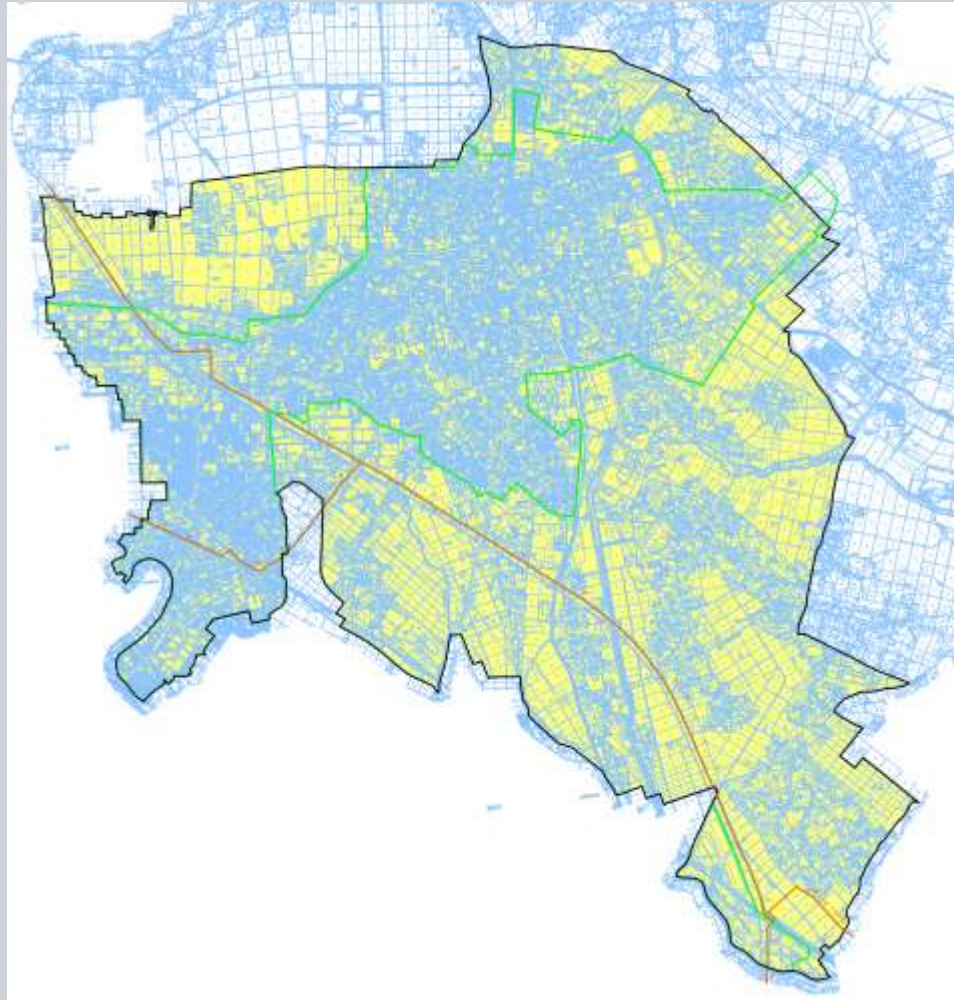
項目		現行計画			変更計画		
計画目標年次		令和6年度			令和31年度		
計画面積(ha)		2,855.0			1,348.2		
計画人口(人)		66,500			30,600		
計画汚水量		日平均	日最大	時間最大	日平均	日最大	時間最大
m3/日	生活系	20,000	25,900	38,900	8,570	11,170	16,830
	地下水	4,000	4,000	4,000	1,680	1,680	1,680
	工場	7,800	7,800	15,600	6,330	6,330	12,660
	計	31,800	37,700	58,500	16,580	19,180	31,170

全体計画変更の概要

- **計画区域**：行田市生活排水処理基本計画で人口動向など地域社会構造の変化を踏まえた区域の見直しを行い、荒川流総計画と整合を図りつつ計画区域の設定を行いました。
- **計画人口**：行田市の実績より将来予測を行い、上位計画と概ね同じ傾向であることを確認し、荒川流総計画及び荒川左岸北部流域下水道と整合を図りつつ、行政人口及び下水道計画人口の設定を行いました。

全体計画区域の変更

現行計画（2,855.0ha）



変更計画（1,348.2ha）

